

◆【全国発信記事】九州関門地方支部

第26回下関「海の日」記念式典行事

— 航海安全・大漁祈願祭を開催 —

7月13日 新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底して開催

下関の金毘羅宮において、航海安全・大漁祈願祭と殉職船員慰霊祭が催された

式典は、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で開催され、金毘羅宮の航海安全・大漁祈願祭では、宮司による御祈祷が行われ祝詞が奏上された。

参列した各関係者代表が玉串奉奠を行い、航海の安全と大漁を祈願したのち境内の「殉職船員の碑」において殉職船員慰霊祭が執り行われ、戦没した殉職船員の御霊の安らかな眠りを祈り、平和な海を次世代に継承することを誓った。

亀山八幡宮儀式殿において、第26回下関「海の日」記念式典と魚霊慰霊祭が催された

式典は、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で開催され、長年にわたり海運業や造船、港湾労働に従事し業界に貢献してきた6人が表彰された。

受章者たちは「今後も海運業の発展に努めていきたい」と語った。

次に、魚霊慰霊祭が執り行われ、亀山八幡宮神職による祝詞奏上と関係者による玉串奉奠が行われ式典はつつがなく終了した。